

2018年8月6日

上場会社名 ヒビノ株式会社

上場取引所 東

 コード番号 2469 URL <http://www.hibino.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 日比野 晃久

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員ヒビノGMC経営企画本部長 (氏名) 大関 靖

TEL 03-3740-4391

四半期報告書提出予定日 2018年8月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2019年3月期第1四半期の連結業績(2018年4月1日～2018年6月30日)
(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年3月期第1四半期	6,391	6.5	△212	—	△178	—	△150	—
2018年3月期第1四半期	6,000	△6.0	△41	—	278	△32.9	177	△28.6

(注)包括利益 2019年3月期第1四半期 △115百万円 (—%) 2018年3月期第1四半期 195百万円 (△11.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年3月期第1四半期	△15.06	—
2018年3月期第1四半期	17.77	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年3月期第1四半期	23,913	8,955	37.4
2018年3月期	24,834	9,260	37.3

(参考)自己資本 2019年3月期第1四半期 8,955百万円 2018年3月期 9,260百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年3月期	—	15.00	—	15.00	30.00
2019年3月期	—	—	—	—	—
2019年3月期(予想)	—	17.50	—	17.50	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年3月期の連結業績予想(2018年4月1日～2019年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,500	10.0	300	11.0	450	△45.1	270	△46.6	27.04
通期	33,000	11.0	1,250	16.5	1,500	△12.4	900	△13.3	90.14

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年3月期1Q	10,265,480 株	2018年3月期	10,265,480 株
② 期末自己株式数	2019年3月期1Q	305,820 株	2018年3月期	280,520 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2019年3月期1Q	9,974,124 株	2018年3月期1Q	10,009,660 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益が堅調に推移する中、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が継続しました。一方、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響が懸念され、先行きは依然として不透明な状況にあります。

このような状況のもと当社グループ(当社と連結子会社14社)は、中期経営計画「ビジョン2020」(2019年3月期～2021年3月期)をスタートし、経営課題である「東京オリンピック・パラリンピック需要の取り込み」「業界トップの維持・シェア向上」「ものづくり事業の強化」「グローバル展開の強化」「新規事業の開発」に基づき諸施策を推進しております。

当第1四半期連結累計期間は、来たる2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向けた施設整備需要、旺盛なコンサート・イベント需要に確実に対応すべく、グループを挙げて取り組みました。その結果、受注が堅調に推移し、競技施設向け音響設備・映像設備案件を含む大型案件を複数獲得したことから、売上高は前年同四半期と比べ増加いたしました。

一方、営業利益は、電波法改正にかかる特定ラジオマイクの販売がなくなったことによる利益への影響が大きいこと、一部大型案件の利益率が低いこと、グローバル展開における先行投資等により、前年同四半期と比べ減少いたしました。経常利益は、前第1四半期連結累計期間は営業外収益として固定資産受贈益263,893千円を計上(電波法改正に伴い一般社団法人700MHz利用推進協会より提供された特定ラジオマイク新機器を計上)しましたが、当第1四半期連結累計期間においては計上がないことから、減少いたしました。

これらの結果、売上高6,391百万円(前年同四半期比6.5%増)、営業損失212百万円(前年同四半期は営業損失41百万円)、経常損失178百万円(前年同四半期は経常利益278百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失150百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益177百万円)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[音響機器販売・施工事業]

音響機器販売・施工事業は、放送局市場を筆頭に大型案件に恵まれ、売上高は前年同四半期を上回りましたが、電波法改正にかかる特定ラジオマイクの販売がなくなったことによる利益への影響が大きいことや、一部大型施工案件において工事費用が増加し利益率を押し下げたことなどから、苦戦を強いられました。

機器販売業務では、放送局の新スタジオ棟建設に伴う案件、東京オリンピック・パラリンピック競技施設案件を手掛けました。

施工業務では、建築音響分野における受注・引き合いが堅調な状況にあり、上記放送局案件のほか、スタジオ、音楽大学、建設会社や自動車部品メーカーの音響実験室等の案件を手掛けました。

これらの結果、売上高3,444百万円(前年同四半期比12.1%増)、セグメント損失224百万円(前年同四半期はセグメント損失122百万円)となりました。

[映像製品の開発・製造・販売事業]

映像製品の開発・製造・販売事業は、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた直接的な需要が本格化する中、競技施設への大型LEDディスプレイ・システムの納入が実現しました。

これらの結果、売上高255百万円(前年同四半期比10.1%減)、セグメント利益10百万円(同33.2%減)となりました。

[コンサート・イベント事業]

コンサート・イベント事業は、主軸であるコンサート市場が好調に推移したことから、売上高は前年同四半期を上回りました。利益については、積極的な機材投資による減価償却費の増加や、2017年5月に進出したアメリカ市場における先行投資費用等により、前年同四半期実績に届きませんでした。

アメリカ子会社においては、新機材の投入により事業基盤の強化を図ったほか、内覧会の開催等を通じて当社グループの技術力の高さを訴求し、認知度向上に努めております。

これらの結果、売上高2,595百万円(前年同四半期比3.1%増)、セグメント利益303百万円(同8.5%減)となりました。

[その他の事業]

その他の事業は、業務用照明機器の販売、システム設計・施工・メンテナンスを行っております。

売上高96百万円(前年同四半期比24.4%減)、セグメント損失6百万円(前年同四半期はセグメント利益3百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は23,913百万円となり、前連結会計年度末と比べて920百万円減少しました。これは受取手形及び売掛金が減少したことが主な要因であります。

負債合計は14,958百万円となり、前連結会計年度末と比べて615百万円減少しました。これは支払手形及び買掛金並びに賞与引当金が減少したことが主な要因であります。

純資産合計は8,955百万円となり、前連結会計年度末と比べて305百万円減少しました。これは利益剰余金が減少したことが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年3月期の第2四半期連結累計期間及び通期の連結業績予想につきましては、当第1四半期連結累計期間の業績が概ね計画通りに推移していることから、2018年5月11日「平成30年3月期 決算短信」にて公表しました数値に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,604,877	2,982,868
受取手形及び売掛金	7,982,845	5,706,081
商品及び製品	2,767,016	2,990,292
仕掛品	581,670	787,259
原材料及び貯蔵品	69,433	73,812
その他	672,867	597,874
貸倒引当金	△56,010	△58,833
流動資産合計	14,622,700	13,079,355
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,970,849	1,972,916
減価償却累計額	△1,075,715	△1,092,450
建物及び構築物(純額)	895,133	880,465
機械装置及び運搬具	11,675,077	12,255,012
減価償却累計額	△8,080,080	△8,408,352
機械装置及び運搬具(純額)	3,594,996	3,846,660
工具、器具及び備品	1,370,072	1,385,350
減価償却累計額	△1,040,670	△1,070,600
工具、器具及び備品(純額)	329,402	314,749
リース資産	1,854,300	1,548,522
減価償却累計額	△1,235,085	△949,283
リース資産(純額)	619,214	599,239
その他	1,163,908	1,585,797
有形固定資産合計	6,602,656	7,226,912
無形固定資産		
のれん	895,049	855,392
その他	340,384	337,516
無形固定資産合計	1,235,434	1,192,909
投資その他の資産		
その他	2,397,663	2,438,343
貸倒引当金	△24,237	△23,817
投資その他の資産合計	2,373,425	2,414,525
固定資産合計	10,211,516	10,834,346
資産合計	24,834,216	23,913,702

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2018年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,231,012	2,676,285
短期借入金	3,740,000	4,050,000
1年内返済予定の長期借入金	1,013,012	1,014,556
リース債務	285,489	274,324
未払法人税等	502,798	18,504
賞与引当金	665,543	315,080
その他	1,410,163	2,031,842
流動負債合計	10,848,020	10,380,593
固定負債		
長期借入金	1,805,410	1,746,360
リース債務	480,514	460,873
退職給付に係る負債	2,180,642	2,176,716
資産除去債務	97,590	97,719
その他	161,513	96,214
固定負債合計	4,725,671	4,577,884
負債合計	15,573,692	14,958,478
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,748,655	1,748,655
資本剰余金	2,054,027	2,053,812
利益剰余金	5,629,062	5,329,035
自己株式	△125,446	△165,638
株主資本合計	9,306,298	8,965,865
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,953	14,021
繰延ヘッジ損益	△4,880	6,334
為替換算調整勘定	4,076	23,371
退職給付に係る調整累計額	△56,023	△54,368
その他の包括利益累計額合計	△45,873	△10,640
非支配株主持分	99	—
純資産合計	9,260,524	8,955,224
負債純資産合計	24,834,216	23,913,702

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
売上高	6,000,349	6,391,368
売上原価	3,859,412	4,377,961
売上総利益	2,140,936	2,013,406
販売費及び一般管理費	2,182,843	2,225,792
営業損失(△)	△41,907	△212,386
営業外収益		
受取利息	408	534
受取配当金	1,567	1,722
固定資産受贈益	263,893	—
保険解約返戻金	50,164	24,386
その他	20,904	27,547
営業外収益合計	336,938	54,190
営業外費用		
支払利息	12,775	12,513
為替差損	1,781	7,346
その他	1,740	767
営業外費用合計	16,296	20,627
経常利益又は経常損失(△)	278,734	△178,822
特別利益		
子会社株式売却益	—	17,509
特別利益合計	—	17,509
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	278,734	△161,313
法人税等	100,884	△11,061
四半期純利益又は四半期純損失(△)	177,850	△150,252
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	177,852	△150,252

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	177,850	△150,252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,743	3,067
繰延ヘッジ損益	3,344	11,215
為替換算調整勘定	5,627	19,294
退職給付に係る調整額	3,589	1,654
その他の包括利益合計	17,305	35,232
四半期包括利益	195,155	△115,019
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	195,157	△115,019
非支配株主に係る四半期包括利益	△2	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2017年4月1日至2017年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	音響機器 販売・施工 事業	映像製品の 開発・製造 ・販売事業	コンサート ・イベント 事業	その他の 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	3,071,863	283,954	2,516,877	127,655	6,000,349	—	6,000,349
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,100	3,136	129,619	401	138,258	△138,258	—
計	3,076,964	287,090	2,646,496	128,056	6,138,608	△138,258	6,000,349
セグメント利益又は 損失(△)	△122,681	15,028	331,387	3,266	227,001	△268,908	△41,907

(注) 1. セグメント利益の調整額△268,908千円には、セグメント間取引消去△1,029千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△267,878千円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	音響機器 販売・施工 事業	映像製品の 開発・製造 ・販売事業	コンサート ・イベント 事業	その他の 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	3,444,285	255,213	2,595,342	96,526	6,391,368	—	6,391,368
セグメント間の内部 売上高又は振替高	47,512	57,074	44,706	8,924	158,217	△158,217	—
計	3,491,798	312,287	2,640,048	105,451	6,549,585	△158,217	6,391,368
セグメント利益又は 損失(△)	△224,898	10,032	303,171	△6,349	81,956	△294,342	△212,386

(注) 1. セグメント利益の調整額△294,342千円には、セグメント間取引消去△9,412千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△284,929千円が含まれております。全社費用は、主に当社の総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。